

上映映画のご紹介

能代市文化会館 中ホール

10.4(土) 10:00～12:10(125分) 麦秋 [1951年 松竹(大船)] (白黒)

脚本 野田高悟 脚本・監督 小津安二郎 [出演者] 原節子、笠智衆、淡島千景、三宅邦子、杉村春子

「ストーリーよりも輪廻とか無情を描きたいと思った」とは小津安二郎の監督自身の言葉である。娘の結婚と、父母の郷里への隠棲でゆるやかに崩壊していく大家族、その別れの過程が小津監督独特の豊かなユーモアと厳密なスタイルで、あたかも自然のように描かれている点に特徴がある。笠智衆、三宅邦子、菅井一郎、東山千栄子らがはまり役とも言える人物造型を見事に演じるとともに、杉村春子は息子の再婚相手に原節子を迎え狂喜する母親の姿を、絶妙な呼吸と身のこなしで表現してみせた。「余白を残す芝居」を心掛けたと言う小津監督の演出の妙は、繰り返し見るごとに明らかとなるだろう。物静かな表面を支える作品の底が厚いのである。「キネマ旬報」ベストテン第1位。



🌸 両日幕間(13:00～14:00)に映画音楽名曲のプレゼント 🌸

10.4 ピアノ 斉藤誠宏と『コーラスうらら』合唱特集

10.5 デュオ・レジェンダ(マンドリン・平丈恵/ギター・神原純一)演奏特集



10.4(土) 14:20～16:20 (118分) 彼岸花 [1958年 松竹(大船)] (カラー)

原作 里見淳 脚本 野田高悟 脚本・監督 小津安二郎 [出演者] 佐分利信、有馬稲子、山本富士子、久我良子

娘が勝手に決めてきた結婚相手に腹を立てる頑固な父親の姿をユーモラスに描く、小津安二郎監督初めてのカラー作品。小津監督の言によれば、父がなじみにしている京都の旅館の娘役として大映から招いた看板女優、山本富士子を活かした明るい映画にしたいという会社の方針もあって、色彩映画に手をつけたそうである。ドラマチックな展開を極力排除し、さりげない会話のやりとりの中に人間のエゴを垣間みせるこの監督特有の手法が、あでやかな色彩とともに、見るものの心に染み込んでくる。母娘を演じた浪花千栄子と山本富士子による京都弁の掛け合いもまた楽しい。里見淳は小津監督の敬愛する小説家で、原作は小津監督の映画化を予定して書き下ろされたものである。「キネマ旬報」ベストテン第3位。

10.4(土) 16:40～19:00 10.5(日) 14:20～16:40(136分) 東京物語 [1953年 松竹(大船)] (白黒)

脚本 野田高悟 脚本・監督 小津安二郎 [出演者] 笠智衆、東山千栄子、原節子、杉村春子、大坂志郎

この作品を作るにあたって、小津監督は「親と子の成長を通じて、日本の家族制度がどう崩壊するか描きたかった」と語っている。戦後から8年しか経ていない当時、まだ〈高度経済成長〉や〈核家族〉といった表現がなされていない頃の作品である。尾道に住む老夫婦が、医者の子や美容師の長女が住む東京に出かける。幸福そうな家庭も経済的には苦しい。東京で暮らす昔の同僚も親子関係に不満をもち、子供たちが計画した熱海への旅行も疲れただけ、唯一の救いは戦地で行方不明となった次男の妻・紀子との一時であった。家族の変化と喪失が大きなテーマになっているものの、終盤にかけて未来に向けて開かれた作品になっている点も見逃せない。能代出身の大坂志郎が好演している。「キネマ旬報」ベストテン第2位。1957年のロンドン映画祭での上映、翌年の英国映画協会 (BFI) サザンランド賞受賞が、世界の小津ブームのきっかけとなった。

10.5(日) 10:00～12:00(113分) 秋刀魚の味 [1962年 松竹(大船)] (カラー)

脚本 野田高悟 脚本・監督 小津安二郎 [出演者] 岩下志麻、笠智衆、佐田啓二、岡田茉莉子、杉村春子

この作品の構想を練っていた1962年2月、生涯独身であった小津は生活を共にしていた最愛の母を失った。その数日前、小津は映画人で初めての芸術院会員となり、喜びを分かち合ったばかりであった。戦後、小津の復活を知らしめた『晩春』(1949、笠智衆・原節子主演)以来、初老の父と独身の娘の関係がこの作品でも踏襲されている。身の周りの世話を娘に頼り、娘の行く末を考えもせずにいる父が、旧制中学時代の恩師と中年の娘がしがみついてラーメン屋を営んでいる光景を目にし、人生の孤独を感じつつ娘を嫁がせるのだった。恩師の娘を演じた杉村春子は、演技指導の厳しかった小津ですら何も注文をつけなかったといわれているが、無言の立ち居振る舞いはこの作品のテーマを見事に表現している。これまでになく人生の無惨さを描いたこの作品の翌年、小津は端正な作風そのままに、還暦を迎えた12月12日、亡き母のもとへ旅立った。「キネマ旬報」ベストテン第8位。

能代市立能代図書館集会室

10.5(日) 11:00～12:30(90分) 児童向けアニメ『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』9巻/兵糧キャラメル他 (2023年/カラー)

全世界累計発行部数1000万部を突破した同名小説を実写映画化。願いを叶える不思議な駄菓子店を舞台に、駄菓子を買った人々の顛末を描く。

10.5(日) 14:00～15:40(99分)『裸足になって』(フランス・アルジェリア/2022年/カラー/99分)

声と夢を理不尽に奪われたバレリーナ志望の少女の再生をみずみずしく描いた感動のヒューマンドラマ!!!